



環境に優しくより快適な空の旅を実現 ソラシドエア全便が新造機で運航開始

～余裕ある座席スペース・スカイインテリアの採用で快適な機内空間を提供～

ソラシドエア(スカイネットアジア航空株式会社 本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長 高橋洋)は、2014年10月1日(水)より、全路線全便において、新造機ボーイング737-800型機での運航を開始します。

新造機ボーイング737-800型機は従来機に比べ運航品質が向上、燃費効率もよく環境に配慮した地球にやさしい機材です。今回の新造機では、シートピッチを平均81cmとし、お足元に余裕をもたせたほか、機内の手荷物収納スペースの大型化で機内持ち込みサイズのキャリーケースも十分に収納できるスペースをご用意しました。更にソラシドエアではボーイングスカイインテリアを採用しており、すべてのお客様により快適な機内空間を提供することが可能となります。また、すべての機材が新造機になることでソラシドエアが保有する機体全体(11機)の平均機齢は1.75年^(※1)と大幅に若返ります。(※1)2014年9月1日現在

尚、全便新造機による運航開始にともない、当社の就航開始時から12年間使用してまいりましたボーイング737-400型機は、本日9月29日(月)のソラシドエア22便(熊本発東京行)をもちまして運航を終了いたします。

全便が新造機での運航となり、ますます快適になるソラシドエアに是非ご期待ください。



ボーイング737-800型機



ボーイングスカイインテリア

以上

スカイネットアジア航空株式会社